

ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける品質マネジメント

株式会社 オフィス新



目次

- 1章 ITプロジェクトとソフトウェア品質
- 2章 品質についての基礎知識
- 3章 ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性
- 4章 ソフトウェアの品質とは
- 5章 ソフトウェア品質管理の全体像
- 6章 品質計画
- 7章 品質保証
- 8章 品質管理
- 9章 品質改善活動
- 10章 PJ完了時における教訓の整理と共有
- 付録1 テスト網羅性の観点
- 付録2 QC7、NQC7



[Memo]



項目	備考
品質保証部	品質保証部
品質保証課	品質保証課
品質保証課長	品質保証課長
品質保証課副長	品質保証課副長
品質保証課主任	品質保証課主任
品質保証課副主任	品質保証課副主任
品質保証課係長	品質保証課係長
品質保証課係員	品質保証課係員

1章 ITプロジェクトとソフトウェア品質

- 1.1 品質問題の考察
- 1.2 品質管理が難しい理由
- 1.3 ソフトウェア品質を向上させるには
- 1.4 組織としてのプロジェクト状況の確認
- 1.5 開発組織の品質意識レベル

2章 品質についての基礎管理

- 2.1 品質の定義
- 2.2 品質の優先順位
- 2.3 品質のグレード
- 2.4 当たり前品質と魅力的品質
- 2.5 品質の2つの側面
- 2.6 品質のコスト
- 2.7 日本における品質マネジメントの流れ
- 2.8 製造業での品質マネジメントの原則
- 2.9 品質マネージメントの基本的な考え方
- 2.10 品質保証と品質管理

3章 ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性

- 3.1 ソフトウェア品質マネジメントとは
- 3.2 ソフトウェア品質マネジメントの特徴と課題
- 3.3 ソフトウェア品質管理上の主な問題点
- 3.4 ソフトウェア品質を決定づける様々な要因
- 3.5 問題解決コストは下流工程になるほど増大する
- 3.6 手戻りコスト
- 3.7 バグ摘出率と解決コストの考察
- 3.8 要件定義バグの解決コスト考察
- 3.9 データーで品質を語ることで、品質改善が進む
- 3.10 事実データーにもとづく管理の難しさ
- 3.11 分業開発における目指すべき品質管理とは

4章 ソフトウェア品質とは

- 4.1 品質尺度(メトリクス)
- 4.2 ISO25010(ソフトウェアの品質特性)
- 4.3 成果物の品質尺度の例
- 4.4 作業の品質尺度の例
- 4.5 ソフトウェアのバグとは

5章 ソフトウェア品質管理の全体像

- 5.1 ソフトウェア品質マネジメントに必要な体制
- 5.2 ソフトウェア品質管理の全体像
- 5.3 高品質ソフトウェア実現に向けた活動の要点
- 5.4 各開発工程における品質保証の観点
- 5.5 V&V(検証と妥当性確認)
- 5.6 W字モデル

6章 品質計画

- 6.1 プロジェクト計画と品質計画
- 6.2 品質計画の概要
- 6.3 品質計画の基本方針
- 6.4 品質計画設定のフレームワーク
- 6.5 品質基準値の設定
- 6.6 実測していたメトリクスの例
- 6.7 製造レビューまでに全不良の7～8割を
抽出すべき!?
- 6.8 品質目標値の設定例
- 6.9 品質データの収集
- 6.10 レビュー記録票/障害記録票
- 6.11 品質データの収集タイミング

7章 品質保証

- 7.1 品質保証の考え方
- 7.2 品質保証体系
- 7.3 ソフトウェア品質保証の原点
- 7.4 レビューとテスト
- 7.5 レビューの種類
- 7.6 レビューの目的と観点
- 7.7 レビューのパターン
- 7.8 レビュー失敗の原因分析と対策例
- 7.9 レビューの流れと留意事項
- 7.10 レビューの共通的なチェック観点
- 7.11 良いテストの条件
- 7.12 テストの種類
- 7.13 テスト技法の種類
- 7.14 テスト計画
- 7.15 テスト網羅性の観点
- 7.16 テスト仕様書の評価観点

8章 品質管理

- 8.1 品質管理の概要
- 8.2 品質データー分析の実施
- 8.3 レビュー速度とバグ密度の関係
- 8.4 テスト密度とバグ密度の関係
- 8.5 テスト工程におけるゾーン分析の例
- 8.6 テスト密度と網羅率の関係
- 8.7 バグ管理曲線
- 8.8 バグ管理曲線の収束判断例

9章 品質改善活動

- 9.1 改善の積み重ねが現場力を磨く**
- 9.2 改善活動のフレームワーク**
- 9.3 改善活動の2つのアプローチ**
- 9.4 QC7つ道具、新QC7つ道具**

10章 PJ完了時における教訓の整理と共有

- 10.1 プロジェクト完了報告**
- 10.2 ヨコテンでチームの成果を組織の成果に**